

(第3学年)

◆単元名「伝えたいことを話そう～わたしの好きな時間～」

1 単元構想

単元で身に付けたい力

自分の気持ちを伝えるために必要な事柄を選び、話の中心が聞き手に伝わるように話す力

言語活動とその特徴

本単元では、生活の中の自分の好きな時間について、クラスの4年生に伝えるスピーチを行うという言語活動を設定している。そのためには、自分が伝えたいと思う「好きな時間」について決め、好きな理由やどんな時にその時間が好きだと思えるのか聞き手に伝わるように話す必要がある。自分の気持ちや思いを伝えるためには、どの材料をどのように組み立てればよいか思考して原稿を作り、スピーチに取り組むといった活動を通して、話の中心が伝わるように話す力を身に付けることができると考える。

児童の実態

児童はこれまでに、学校や家庭、地域における身近な出来事や自分が経験したことに基づいて、「始め」「中」「終わり」の組み立てに分けて話すことや、声の大きさ、速さを考えることを学習してきた。
R2標準学力調査の結果では、国語の正答率77.2%と全国より高く、「話す・聞く能力」についても正答率83.3%で全国を2.6ポイント上回っている。
しかし、日々の日記や帰りの会のスピーチなどでは言葉が不十分だったり、出来事をつらつらと述べるだけで何を伝えたいのか分からなかったりする場面が見受けられる。聞き手に分かりやすく伝えるために、話の中心が何かということをしかりと押さえるようにさせたい。

指導観

第一次では、教師が実際にスピーチ例を示すことで活動の見通しを持たせ、活動への意欲を高めたい。
第二次では、教科書の田中さんのメモを参考にさせながら、好きな時間についてその理由やどんな時に好きと思うのかワークシートにメモをいくつか書かせ、話す材料を集める。話す材料を集めることが難しい児童がいると思われるので、とも学びではペアでもっと聞きたいと思うことをお互いにアドバイスし合うようにしたい。そして、自分が書いた好きな理由の中から話の中心として伝えたいことを選び、どの材料をどのように組み立てるとよいか考えさせる。その時、「始め」「中」「終わり」の組み立てを意識させるようにする。
第三次では、3・4年生合同のスピーチ発表の場を設定する。感想を伝え合い、学習の振り返りをする中で、今後に生かそうとする意欲へとつなげるようにしたい。

2 単元の目標及び評価規準

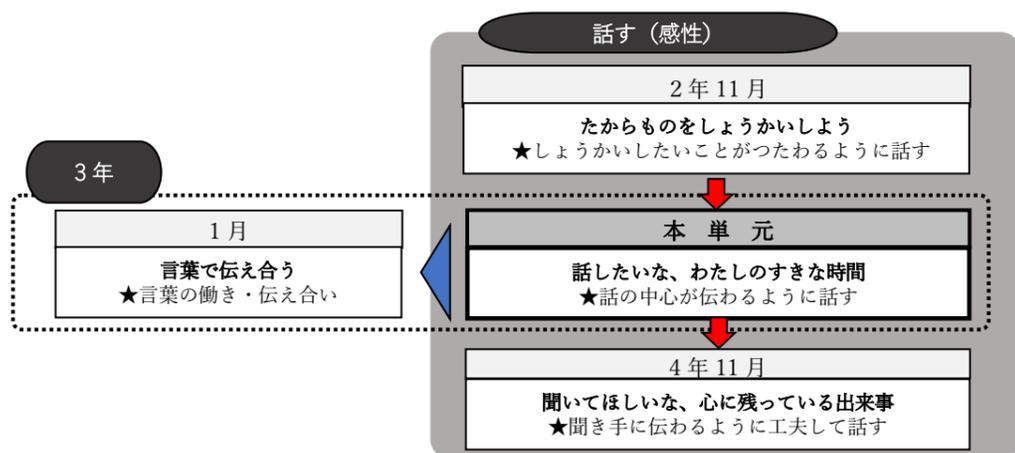
(1) 単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
①相手を見て話したり聞いたりすることができる…(1)イ ②様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話の中で使うことができる…(1)オ	①目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる…A(1)ア ②相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成をすることができる…A(1)イ	①積極的に、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選び、自分のことについて話そうとする。

(2) 単元の評価規準〔下線部：重点指導事項〕

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①相手を見て話したり聞いたりしている…(1)イ ②様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話の中で使っている…(1)オ	①「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる…A(1)ア ②「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている…A(1)イ	①積極的に、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選び、自分のことについて話そうとしている。

3 単元の系統性



4 研究主題に関わって

研究主題：複式授業で学びを深める児童の育成

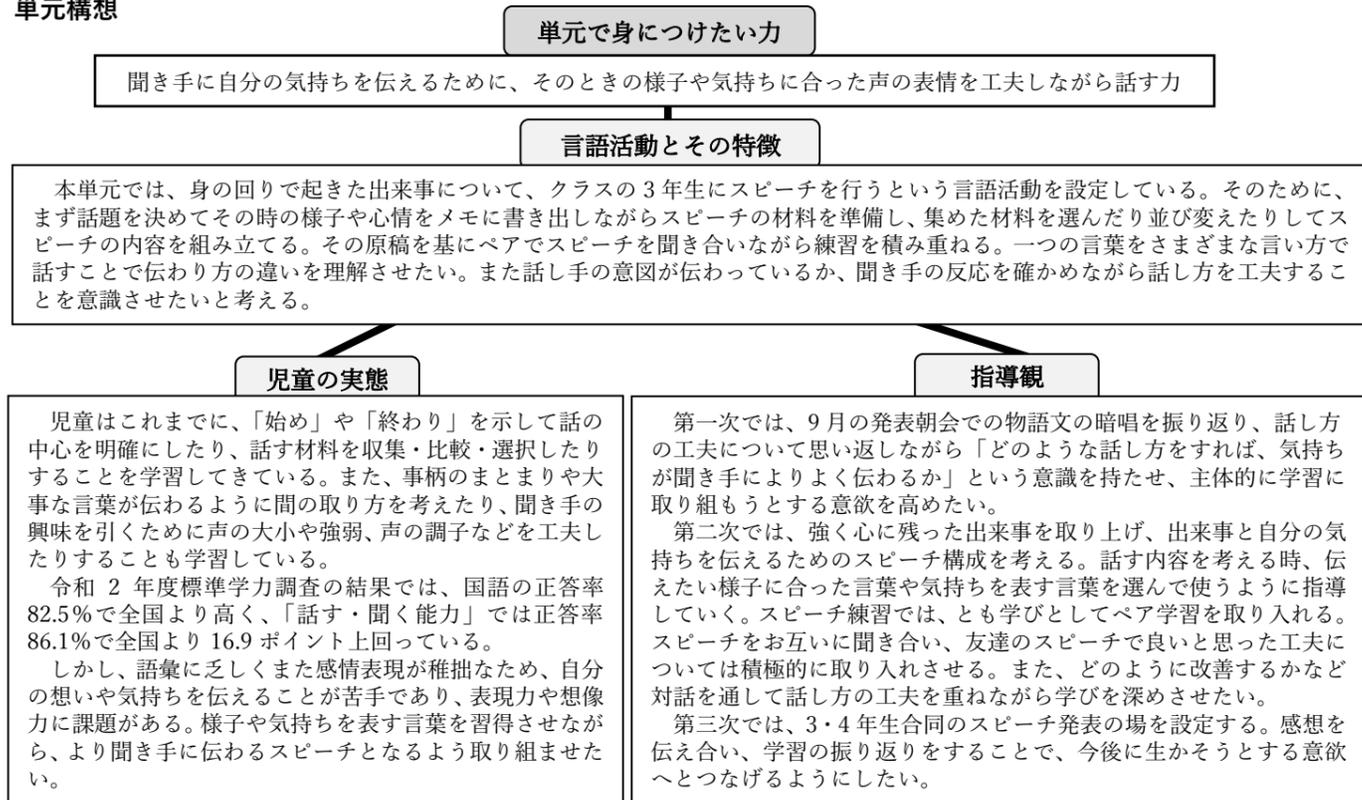
- 学習リーダーの育成
 - ・複式授業だけではなく単式化している教科においても、できる限り「学習リーダー」を中心に、メニューボードを見ながら自分たちで学習を進めることができるようにする。
- とも学びの充実
 - ・発表する際には「声の大きさ」や「伝え方」など、しっかりと相手意識を持たせるようにする。
 - ・発表を聞く際には「聞き方」や「反応」についても指導を行う。また、自分と友達の意見の共通点や相違点を考えながら聞くことができるようにする。
 - ・発表だけで終わるのではなく、友達との意見交流を通して自分の学びを深められるようにしていく。

5 学習の流れ〔全6時間〕

学習過程	主な学習内容及び学習活動	評価の計画及び評価規準、評価の方法	言語活動
第一次(つかむ)	<p>①単元のゴールを知り、学習の見通しを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな時間について4年生に話すという学習課題を確かめる。 ・教師のスピーチや教科書の田中さんのスピーチを聞き、自分の好きな時間について考える。 		<p>自分の好きな時間について、4年生にスピーチする。</p> <p>好きな理由やどんな時に好きだと思えるか話の中心が伝わるように</p>
第二次(取り組む)	<p>②話題を決めて、話す材料を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな時間とその時間が好きな理由、どんな時に好きだと思えるかをメモに書き出す。…【本時】 	<p>【思考・判断・表現①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(観察・ワークシート) 	
	<p>③材料の中から話すことを選んで組み立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き出したメモの中から話の中心となる理由を決める。 ・話の組み立てを考えて、スピーチ原稿を書く。 	<p>【思考・判断・表現②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。(観察・ノート・ワークシート) 	
第三次(表現・振り返る)	<p>④スピーチの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手は、めあてを意識してスピーチしているか考えたり、自分の経験と比べたりしながら話を聞き、感想を伝える。 	<p>【知識・技能②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話の中で使っている。(観察・発表原稿) 	
	<p>⑤3・4年生の前でスピーチする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手を見て声の大きさや速さ、間の取り方に気をつけて話す。 	<p>【知識・技能①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手を見て話したり聞いたりしている。(観察・発表) 	
	<p>⑥単元の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことをどのように生かしていきたいかを確かめ、今後の学習意欲を高める。 	<p>【主体的に学習に取り組む態度①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選び、自分のことについて話そうとしている。(観察・ワークシート) 	
<p>単元終了時に目指す児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の気持ちを伝えるために必要な事柄を選んでいる姿 ○話の中心が明確で、相手に伝わるように話している姿 			

◆単元名「伝えたいことを話そう～心に残っている出来事～」

1 単元構想



2 単元の目標及び評価規準

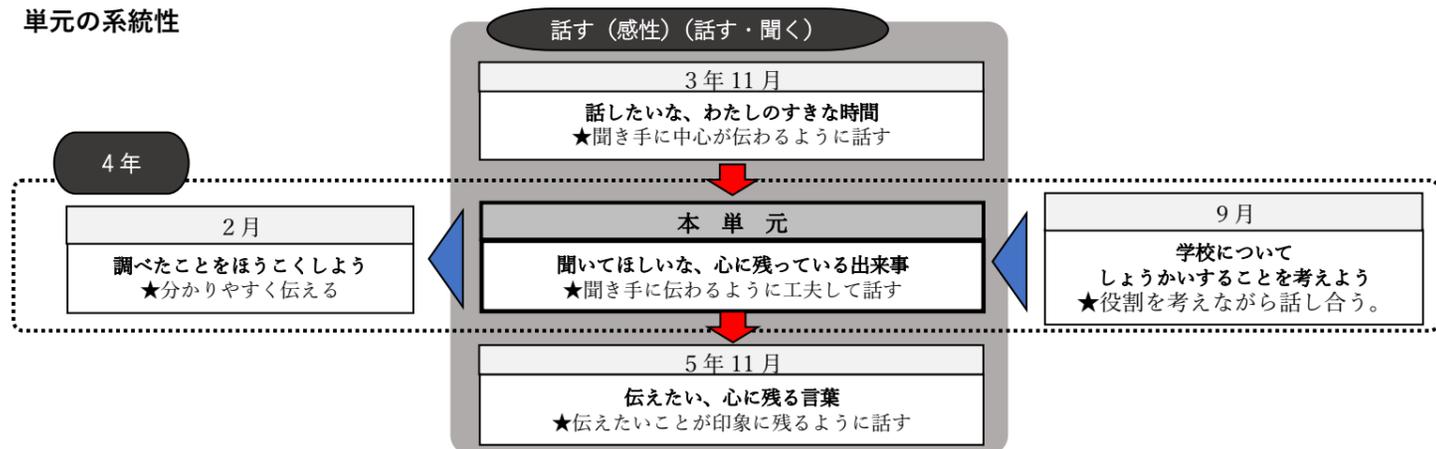
(1) 単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
①相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。…(1)イ ②様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話の中で使うことができる。…(1)オ	①目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。…A(1)ア ②話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。…A(1)ウ	①話の中心を意識し、粘り強く言葉の抑揚や強弱、間の取り方を工夫して、心に残っている出来事を話そうとする。

(2) 単元の評価規準〔下線部：重点指導事項〕

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。…(1)イ ②様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話の中で使っている。…(1)オ	①「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。…A(1)ア ②「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。…A(1)ウ	①話の中心を意識し、粘り強く言葉の抑揚や強弱、間の取り方を工夫して、心に残っている出来事を話そうとしている。

3 単元の系統性



4 研究主題に関わって

研究主題：複式授業で学びを深める児童の育成

- 学習リーダーの育成
 - ・複式授業だけではなく単式化している教科においても、できる限り「学習リーダー」を中心に、メニューボードを見ながら自分たちで学習を進めることができるようにする。
- とも学びの充実
 - ・発表する際には「声の大きさ」や「伝え方」など、しっかりと相手意識を持たせるようにする。
 - ・発表を聞く際には「聞き方」や「反応」についても指導を行う。また、自分と友達の意見の共通点や相違点を考えながら聞くことができるようにする。
 - ・発表だけで終わるのではなく、友達との意見交流を通して自分の学びを深められるようにしていく。

5 学習の流れ〔全6時間〕

学習過程	主な学習内容及び学習活動	評価の計画及び評価規準、評価の方法	言語活動
第一次（つかむ） 話題の設定	①単元のゴールを知り、学習の見通しを立てる。 ・身の回りで起きた出来事について、3年生に話すという学習課題を確かめる。 ・これまでの学習を想起し、話し方の工夫について振り返る。		身の回りで起きた出来事について三年生に伝えるために、そのときの様子や気持ちに合った声の表情を工夫してスピーチする。
第二次（取り組む） 情報の収集、内容の検討	②話題を決めて、話す材料を集める。 ・心に残った出来事から伝えたい話題を選び、そのときの様子や気持ちを付箋に詳しく書き出す。 ③話を組み立てる。 ・一番伝えたいことの付箋を決め、それが話の中心になるように話す事柄を選ぶ。 ・話の組み立てを考えて、スピーチ原稿を書く。	【思考・判断・表現①】 ・目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 (観察・メモ)	
第二次（取り組む） 構成の検討、考えの形成	④スピーチの練習をする。 ・声の出し方や抑揚を変えながら読み、伝わり方の違いを理解する。 ・ペアでビデオカメラを使って録画しながら練習し、自分の話し方を確認したり話し方の工夫についてアドバイスしたりする。 ・・・【本時】	【知識・技能②】 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話の中で使っている。 (発表原稿)	
第三次（表現・振り返る） 表現、共有	⑤3・4年生の前でスピーチする。 ・聞き手を見ながら話す。 ・自分が感じたことが、聞き手に伝わるように、工夫して話す。 ・それぞれのスピーチを聞き、感想を伝える。 ⑥単元の学習を振り返る。 ・自分や友達がどんな話し方を工夫していたかを振り返り、学習したことを確かめる。	【思考・判断・表現②】 ・話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 (観察・発表)	
		【知識・技能①】 ・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。 (発表)	
		【主体的に学習に取り組む態度①】 ・話の中心を意識し、粘り強く言葉の抑揚や強弱、間の取り方を工夫して、心に残っている出来事を話そうとしている。 (発表原稿・発表)	
			単元終了時に目指す児童の姿 ○様子や行動、気持ちを表す語句を話の中でたくさん使っている姿 ○話の中心を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方を工夫して話している姿

6 本時の学習

第3学年

第4学年

(1) 目標

スピーチの話題を決めて、自分の好きな時間とその理由や気持ちについて考え、話す材料を集めることができる。

出来事の様子や気持ちが伝わる話し方の工夫を考えることができる。

(2) 展開

学習活動及び学習内容	主な発問(※) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点(○) 評価(★)	教師の動き		学習活動及び学習内容	主な発問(※) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点(○) 評価(★)
			時間				
1. 前時の振り返りをする。		○前時の学習を振り返るとともに、単元のゴールを確認させる。	0		1. 前時の振り返りをする。		○前時の学習を振り返るとともに、単元のゴールを確認させる。
2. 教科書P.27を読む。					2. 本時のめあてを確認する。		
3. 本時のめあてを確認する。			6		どのように話せば、伝えたいことが伝わるか考えよう。		
4. スピーチの話題を決める。		○前時のノートを見返し、好きな時間の中から4年生に伝えたい時間を決めさせる。	8		3. 話し方の工夫について確認する。	※聞き手に伝わるようにするために、どのような話し方の工夫がありますか。 ・声の大きさ ・読む速さ ・間の取り方 ・声の表情 ・目線	○声の出し方や抑揚によって伝わり方が違うことを確かめる。
5. 選んだ話題について、話す材料をメモに書き出す。(ひとり学び)	※話題についてどんなことをスピーチすればいいでしょう。 ・好きな理由 ・どんな時に好きだと思ったか。 ・様子や気持ち	○教科書の田中さんのメモを参考に書き出させる。 ★思・判・表①	10		4. 話し方の工夫を考えてスピーチ原稿に書き込む。(ひとり学び)		★思・判・表②
6. 書き出したメモを基に、話し合う。(とも学び)	※書き出したメモについて、もっと聞きたいと思うことを伝え合いましょう。	○ペアで、意見交換させる。 ○自分のメモを見直し、必要に応じて書き足させる。	15		5. ペアで動画を撮り合いながらスピーチ練習をする。(とも学び)		○動画を撮ることで、それぞれのスピーチが良くなっているか確認させる。 ○ペアで互いのスピーチを聞き合い、もっと良くするためのアドバイスを伝えさせる。 ○2回目に撮る時は、その箇所と前後合わせて3文とする。
7. 本時の学習を振り返る。			30		6. 本時の学習を振り返る。		
			42				

直接指導

間接指導

(3) 準備物

◆ワークシート ◆短冊 ◆評価カード ◆メニューボード ◆書画カメラ

◆聞き合う時のポイント(掲示用) ◆短冊 ◆メニューボード ◆ビデオカメラ ◆ホワイトボード

(4) 板書計画

